

## 特別支援学校坂戸ろう学園の活性化・特色化方針

（令和3年度～）

### 1 学校基本情報

種別	聴覚障害	学部・ 学科	幼・小・中・高	児童 生徒数	(男)46 (女)50	計 96
ホームページ	<a href="http://www.sakado-sd.spec.ed.jp/">http://www.sakado-sd.spec.ed.jp/</a>					
アクセス	東武東上線 北坂戸駅から徒歩15分					
教育課程等 の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚部は、幼稚部教育要領5領域の発達に関する視点と自立活動六区分の内容に関する視点を取り入れた教育課程を編成しています。</li> <li>・小学部、中学部、高等部は小学校、中学校、高等学校に準じた教科学習を行っています。</li> <li>・高等部では普通科、産業工芸科の2つの学科を設置し、進路希望に応じた教育課程を編成しています。</li> <li>・重複部は個々の障害の状況に応じ、教科別の学習の他に教科等を合わせた指導（日常生活の指導、生活単元学習、作業学習）を行っています。</li> </ul>					
特色ある 学校行事や 部活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会・体育祭は練習から全校で活動し、学部を越えたかわりを通して互いを敬う心を育てています。</li> <li>・あゆみ祭（文化祭）では、学部学級の日頃の学びの成果を工夫した形で発表し、互いの努力を知る機会となっています。</li> <li>・部活動は、中学部、高等部の生徒が対象で、一緒に活動しています。</li> <li>・陸上競技部、女子バレー部、野球部、卓球部、文化部の5つの部活があります。</li> <li>・運動部は、関東聾学校大会や中体連、高体連、高野連の大会に参加しています。</li> </ul>					
家庭・地域 との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会・体育祭及びあゆみ祭において、PTAが企画した活動を行っています。</li> <li>・近隣の保育園、小学校、中学校、高等学校と交流会を実施しています。</li> <li>・学校公開を年2回実施しています。</li> <li>・寄宿舍太鼓サークル「こぼと会」が、坂戸市や地域のお祭りで太鼓演奏を発表しています。</li> </ul>					
進路に ついて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路選択のため、進学、就職に関する見学や実習を行っています。</li> </ul> <p>主な進学先 筑波技術大学、群馬大学、東洋大学、日本社会事業大学、恵泉女学園大学、和光大学、武蔵丘短期大学、筑波大附属専攻科、大宮ろう学園専攻科</p> <p>主な就職先 トヨタ自動車株式会社、本田技研工業株式会社、日本電波工業株式会社、イントロン株式会社、株式会社ジェイテクト、株式会社マルイキットセンター、アイシン・エイ・ダブリュ株式会社、菱信データ株式会社、株式会社アダストリア、スズキ株式会社、株式会社松屋フーズ</p> <p>就労移行等 くるみの木、Office HIRUGAO、Jast、サンフレッシュメイト、多機能型事業所ラボリ、すだち作業所</p>					

（ 児童生徒数：R2.5.1 現在、進路は R2.3 卒業生の実績 ）

## 聴覚障害の特別支援学校

県内には、坂戸と大宮の2校、全国では、分校・分教室を含めると102校あります。  
3歳からの幼児児童生徒が学んでいます。  
さらに、乳幼児教育相談も設置されていて、0歳児から教育相談を受け付けています。

## 学校の様子？

手話や日本語のコミュニケーション力を高め、学力の向上を図っています。  
ICT等を活用した情報保障の充実や分かる授業づくりに取り組んでいます。  
在籍人数は、幼稚部から高等部まであわせて96名。学年を超えて助け合う、温か味のある校風が自慢です。  
学習内容は、幼稚園、小学校、中学校、高等学校に準じた勉強をしています。もちろん、個に応じた指導も大切にしています。  
また中・高等部から部活動もあります。最近、大学等への進学希望が増えて、進学に対応できる教育課程も工夫しています。  
複数の障害を併せ有する幼児児童生徒は、個々の障害の状況に応じて、学習集団を工夫して学習を行っています。

## 成長物語

### 幼稚部

先生やお友達といっぱい話し、遊び、できることは自分でやる姿を目指す。  
集団と個別の活動を通じ、個々のきこえ方や発達の特性にに応じ指導・支援を行う。

### 小学部

児童が自ら情報をつかみ、生活に活かそうとする姿を目指す。  
学習や活動の内容、季節やニュース等の情報が適格につかめる掲示物や掲示方法を工夫する。

### 中学部

手話と日本語の力を身につけ、学習に主体的に取り組むとともに、教員や友達とその場に応じたコミュニケーションがとれる姿を目指す。  
デフフッドの視点から生徒の思考力を深める授業を研究するとともに、育む学校内外問わずコミュニケーションをとる機会を設定し経験を積めるようにする。

### 高等部

社会で活躍するたくましい大人を目指し、自ら学ぶ生徒を育てる。  
学年に応じた手話・筆談力を養い、個々の生徒の実態に応じた必要な力を身につけるための体験学習を行う。福祉や社会常識、障害認識、発音指導（希望者）は外部講師の指導も含め実施する。

### 幼稚部（乳幼児教育相談）

乳幼児支援、保護者支援を充実させる。  
子供が自ら考える力を高める活動を設定する。両親が参加しやすい活動を計画する。個々に応じ子育てについて助言を行う。ICTを活用し参加が難しい家庭への支援を行う。

### 重複部

日常生活や集団・社会生活に必要な力、コミュニケーションの力を身に付ける。  
児童生徒のコミュニケーション手段に応じた教材や方法を充実し、生活で生かせるよう家庭と連携する。

### 地域支援部

通級指導、教育相談、支援籍学習において、児童生徒のニーズに応じた対応を充実させる。  
相談対応充実のため、部内研修で情報共有し個別の相談に生かす。

### 寄宿部

生活に見通しを持ち、活動するとともに、集団生活を通じ、人間関係を築く力を育む。  
見通しを持てる環境整備や取り組みを計画的に行い、手話力を向上することで意思表示やコミュニケーションの力を高める。